

日本共産党 和歌山市委員

# ひめだ高宏ニュース

No. 1138

17.2.7

## 「9条せんべい」製造中止でない

1月24日付けひめだニュースの「年金裁判支援せんべい」の記事で、「製造中止となった「9条せんべい」と同じ仕様で」の文章は削除させていただきまます。関係者から「9条せんべいは製造中止してない。ウンと書いてもらっては困る」と指摘がありました。お詫びして当該箇所を削除いたします。

## カジノ誘致には反対です。

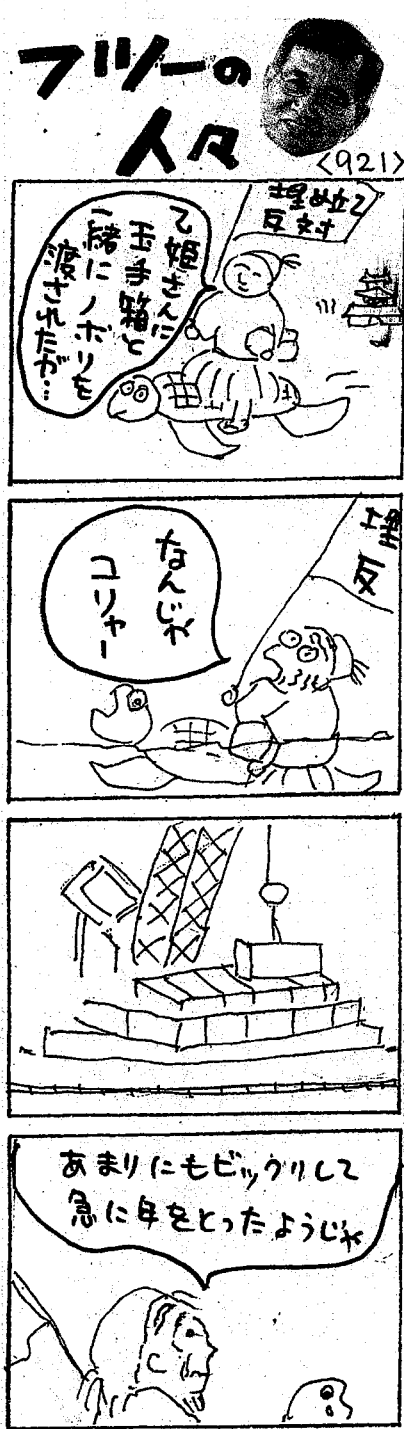
昨年12月に国会でカジノ解禁推進法が成立しました。推進する側はカジノと呼ばずIR(カジノを含む統合型リゾート)とかMICE(カジノを併設した企業や

国際的な団体の催しの受け皿になる大規模施設と呼んでいいます。日本人の財布が狙われ、もうけは業者に、社会的費用は国民が税金で負担するようになります。

## 日本はすでにギャンブル天国

竹腰将弘(赤旗社会部記者)・小松公生(日本共産党政治・外交委員)西氏共著の「カジノ狂騒曲」(新日本出版社1512円)は、カジノの何が問題か、推進している勢力が何を狙っているのかを明らかにした本

国	調査数	年齢	生涯有病率
アメリカ	1,000	18~	1.4%
カナダ	3,120	18~	1.3%
イギリス	7,770	16~	0.8%
スペイン	1,615	18~	1.7%
スイス	2,526	18~	0.8%
スウェーデン	7,139	15~74	1.2%
ノルウェー	5,235	-	0.3%
フィンランド	5,013	15~	1.5%
オーストラリア	10,606	18~	2.1%
ニュージーランド	6,452	18~	1.0%
日本	4,123	20~	男9.6% 女1.6%



## 今週のフットマン

(その84)

### 浦島太郎もビックリ!!

2月6日の夕刊は、沖縄県名護市辺野古の海を埋め立てるためのコンクリートブロック(1個14トン)を228個投入する工事が始まったと報道。米軍キャンプ・シユフブのゲート前では、反対派約1,000人が集まり、機動隊員ともみあいになった。工事について最高裁判所は、「最高裁の判決で、念書知事の埋め立て承認取り

表しが紹介されています。日本の数値は国立病院機構久里浜アルコール症センターが2008年に行った調査で人口に換算すれば約560万人。ビックリです。

消し処分が違法であると、いう司法判断が確定した。我が国は法治国家であり、埋め立て工事を進めたい」と述べたこと。憲法すら人政権がやぶゆめ。知事知事「絶対反対」といふ世論を背景で示してきた」と、稲嶺市長は「政府は沖縄県民を日本国民として扱っていない」と発言。政府は憲法が定める地方自治をも踏みにじているのです。タロウも泣くわ。



ひめだ高宏

# 和歌山県支出済額一千万円

「カジノ狂騒曲」は、和歌山県が神奈川と沖縄の3

和歌山県カジノ関連事業	2006(H18)	1,950	カジノ立地業態調査
	07(H19)	900	研究会②講演会、説明会
	08(H20)	1,135	県民アンケート
	"	980	研究会③講演会、説明会
	09(H21)	987	研究会③講演会
	10(H22)	500	3県研究会負担金
	"	983	研究会②、シンポジウム
	11(H23)	400	3県研究会負担金
	"	987	経済波及効果の検証
	12(H24)	400	3県研究会負担金
	13(H25)	949	MICE誘致の基礎調査
合計		10,171	口頭で数字は回数、金額の単位は千円

県でJAPARC(日本プロシエクト産業協議会)の指導を受け、定期的に協議しているなど、和歌山県を含む18の自治体がカジノ誘致を

読者の投稿

短歌 勝田 鉄也

緑なす小高き山を背にしては  
枯れ木一本銀杏立ちをり  
雨止みて銀杏枯れ木の向うには  
朝コンビビニの輝きをりき

を進めていくことと紹介しています。そこに示された金額をもとに、日本共産党県議団を通じて、これまで和歌山県がカジノ誘致に傾けた費用の内訳を担当者から教えてもらいました。そこが上の表です。

# 日本共産党

## 各地後援会について

先週は市内各地の「新春のつどい」に参加する機会が多かった。古議連の区域に分かれた後援会はそれぞれ特徴があり、つどいという活動

で頑張っているかがよく分かった。東や河西は継続的に宣伝行動をやっている。西はアットホームな感じだし、河北や南は文化的だし、中地域は今週末邪魔する。それぞれ後援会を支えている中心の方々がいて、つどいの苦勞が垣間見えた。障がい者のみなさんの集いに参加して思ったのは、



原やすひさ (衆院1区)

# 大門みき(参院議員) 参院 参院 からやかEゼイ

## 「ユーモアって、なに？」

2月3日、衆議院予算委員会、日本共産党の清水ただし議員が、カジノ問題で安倍首相を鋭く追及。よく準備された切れ味のいい見事な質問で、清水さんらしいユーモアも聞く人を引き付けました。▼中野晃一さん(安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合、上智大学教授)のこ

とばを思い出しました。「私たちは怒っています。しかし、怒っているだけの人たちに、人は驚いてきません。より広げるためにはユーモアもいります。」(1月17日、党大会でのご挨拶)。▼権力の不正を厳しく告発し続けるアメリカの映画監督、マイケル・ムーアさんも、以前から「左翼の運動にもっとユーモアを」と呼びかけてきました。「運動

に怒りは必要だが、それだけでは人を遠ざける、話し手にユーモアがあると、聞き手は信頼を寄せてくれる」「権力追及の最大の武器はじつはユーモアだ」と。▼ところで、ユーモアとは

なにが。中野さんのことばが話題になったとき、わが党の若手の女性議員Aさんが私に「質問になると、いつも最初から最後まで怒りっぱなしだと、自分でも思います。ユーモアなんて無理だけど、もう少し余裕をもてないものかと悩んでしまつ」と…。悪政への怒りは当然のこと。「怒り、おなじも、度が過ぎるとユーモアになるから」と慰めまじった。ユーモアは、たんにジョークのことではなく、人間の可笑しさにたいする愛しみのあふんむものだと感じました。